

2020年4月17日付の緊急アンケートに回答いただいた皆さまへ

非常事態宣言下で感染予防対策の医療材料不足やリハビリテーション室の運営の情報不足などさまざまな問題を生じていたなか、日本理学療法士学会理学療法管理部門では4月17日から緊急アンケートを実施しました。その結果を改めて分析し学術報告とすることは、今後の感染予防対策やリハビリテーション室運営において有益な情報提供につながるものと考えます。

そこで以下のようにアンケート結果を活用する研究計画を立案しました。データは全て匿名化して処理いたしますので、施設等が特定されることはございませんが、オプトアウト可能であることをお知らせします。

研究課題 COVID-19 感染予防にかかる理学療法管理の課題と対策  
研究期間 2020年6月1日～2021年3月31日  
研究機関 日本理学療法士学会理学療法管理部門  
研究者 千葉哲也、伊藤義広、松田徹、齋藤義雄、金子千香、小諸信宏、上村明子  
調査方法 2020年4月17日から2020年5月6日日本理学療法士学会理学療法管理部門ウェブサイト (<http://jspt.japanpt.or.jp/kanri/news/coronaanke-to.html>) にてアンケートを掲載し、メルマガ登録者へ回答依頼のメールを送信した  
対象 日本理学療法士学会理学療法管理部門に登録している理学療法士  
回答結果 有効回答数 209件  
集計報告 回答集計は同ウェブサイトにて2020年5月24日より掲載中  
(PDFにて総31ページで掲載)  
研究方法 回答者、所属施設の個別情報を削除し、匿名化したうえで研究者が分担して構造解析する

情報提供を目的としたアンケートではありますが、学術的活用の意義が高いものと判断し、当部門で研究報告することを計画しております。回答データの研究利用を希望されない場合は、下記の期間のなかでご連絡ください。ご連絡のない場合は、研究利用について了承したものととして扱わせていただきます。

オプトアウト期間 2020年6月18日～2020年7月18日  
オプトアウト申告先 [kanri@japanpt.or.jp](mailto:kanri@japanpt.or.jp)

2020年6月17日  
日本理学療法士学会理学療法管理部門  
千葉哲也